



なでしこBC連携は8月28日、本年度2回目の連絡協議会を徳島建設セ

なでしこBC連携が協議会 徳島県内3社の加入承認

なでしこBC連携は8月28日、本年度2回目の連絡協議会を徳島建設センターで開催し、写真、新たに徳島県内3社の正式加入を承認した。3社は、建築・土木業の三木組（吉野川市）と建設コンサルタント業のフジみらい（徳島市）、建設機械リース業の喜多機械産業（徳島市）。

連携は、災害時に地域の枠を超え協力体制を整えるため、2015年2月に井上組と福井組でスタート。その後、岡山県と和歌山県の企業にも広がり、今年8月には高知県のも加入した。これまで、各社の現場を女性目線で職場環境や衛生面をチェックする「なでしこパトロール」をはじめ、意見交換や学習会に取り組んでいる。

加入に際し、三木組の美馬勇真経営企画部長は「自社でBCPに取り組んでいるが、連携で情報共有と協力体制をとりたい」、フジみらいの江崎雅章社長は「支援業務などで建設業者のサポートをしている。女性の活躍の場を広げ自社も成長していきたい」、喜多機械産業の美馬博理事は「i-Con現場に参加しノ

ウハウを蓄積している。建設機械のメンテナンスなどでサポートできるのでは」と、それぞれ加入動機や意気込みを語った。協議会では、ロゴマークに山本建設（高知県黒潮町）が作成した花柄デ

ザインを採用することし、各社間での災害要請は発注者と協議することや災害対応力の強化のため訓練を定期的に行うことなどを決めた。また防災士の大宮佐知子さんが「連携企業間で、防

災訓練や安全大会開催時に連携に所属する社員を講師として派遣しては」と提案した。年内に第3回目の連絡協議会を開催する予定で、引き続き協議事項の検討を進めて行く。